履修コード/科目名称	199251 / 生涯スポーツ実 199252 / 生涯スポーツ実 199253 / 生涯スポーツ実 199254 / 生涯スポーツ実	[習Ⅲ(後期・基礎)	
開講年度	2019年	開講曜日·時限	金•2
担当教員氏名(カナ)	山口 良博	(ヤマグチ ヨシヒロ)	
副担当教員氏名(カナ)	竹田 幸夫	(タケダ ユキオ)	

履修コード/科目名称	199252 / 生涯スポーツ集 199253 / 生涯スポーツ集	至習 I(後期・基礎)【室内5 至習 II(後期・基礎)【室内5 兵習III(後期・基礎)【室内5 天習IV(後期・基礎)【室内5 ででである。	求技】 求技】
開講年度	2019年	開講曜日•時限	金•2
担当教員氏名(カナ)	山口 良博	(ヤマグチ ヨシヒロ)	

授業概要	バスケットボール、バレーボール、バドミントンを主な種目とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールについて学ぶ。	
到達目標(ねらい)	各種目での技術上達はもとより、ゲーム等をとおして協調性やリーダーシップ等を養う機会とし、豊かな人間関係作りとともに生涯スポーツについても理解を深めることを目的とする。	
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション、授業内容の説明
	第2回	バドミントン:基礎練習(ハイクリア、サービス)
	第3回	バドミントン:基礎練習(ドライブ)、ゲーム
	第4回	バドミントン:基礎練習(ヘアピン)、ゲーム
	第5回	バドミントン:応用練習、リーグ戦
	第6回	バレーボール:基礎練習(オーバーハンドパス、アンダーハンドパス)
	第7回	バレーボール:基礎練習(サーブ)、ゲーム
	第8回	バレーボール:基礎練習(スパイク)、ゲーム
	第9回	バレーボール:応用練習、リーグ戦
	第10回	バスケットボール:基礎練習(パス、シュート)
	第11回	バスケットボール:基礎練習(ドリブル)、ゲーム
	第12回	バスケットボール:基礎練習(1on1)、ゲーム
	第13回	バスケットボール:応用練習、リーグ戦
	第14回	受講者と相談のうえ種目を決定(基礎練習、ゲーム)
	第15回	受講者と相談のうえ種目を決定(基礎練習、ゲーム)
準備学習	各種目	における基本的なルールを学習しておくこと。
履修上の留意点等		ソウェア(上下)、体育館シューズの着用を厳守すること。 ついては、受講者状況に応じて変更することがあります。
成績評価の方法	80%	平常点
	20%	総合評価(積極性・協調性・授業態度など)
	授業に	出席して、積極的に取り組むことが重要である。
教科書/テキスト		
参考書	الم ووصيا	
学生による授業アン ケート結果等による授 業内容・方法の改善に ついて	新設科目のためアンケート未実施です。	
関連リンク		
実務経験がある教員による授業科目		

履修コード/科目名称	199252 / 生涯スポーツ実 199253 / 生涯スポーツ実	習 I (後期・基礎) 【ゴルフ 習 II (後期・基礎) 【ゴルフ 習 III (後期・基礎) 【ゴルフ 習 IV (後期・基礎) 【ゴルフ	, j : ]
開講年度	2019年	開講曜日•時限	金•2
担当教員氏名(カナ)	竹田 幸夫	(タケダ ユキオ)	

	ı	
授業概要	本授業では、ゴルフの基本技術の実技を通じてゴルフというスポーツの楽しみ方を学習する。毎回、異なった練習課題をこなした後、グランドに設定した模擬コースによって本コースでのラウンドのしかたを学ぶ。	
到達目標(ねらい)	ゴルフは、世代や性別を問わずに多くの人々に親しまれている生涯スポーツの一つである。 授業においては、ゴルフに関する基礎知識や技術、マナーなどを理解し、基本技術の実技を 通して、ゴルフを生涯楽しむことのできるための基礎を築くことをねらいとする。	
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション
	第2回	ゴルフの基本技術(グリップ・スタンス・アドレス・スイング)の確認
	第3回	打撃練習(ピッチングウェッジ)
	第4回	打撃練習(9番アイアン)
	第5回	打撃練習(7番アイアン)
	第6回	打撃練習(ドライバー)
	第7回	打撃練習(9番アイアン・7番アイアン・ドライバー)
	第8回	パッティング練習(クラブの解説)
	第9回	打撃練習(アプローチショット)
	第10回	パッティング練習(コースの解説)
	第11回	打撃練習(アプローチショット)
	第12回	模擬コースのラウンドプレー(マナー・エチケットの解説)
	第13回	模擬コースのラウンドプレー(マナー・エチケットの解説)
	第14回	模擬コースのラウンドプレー(マナー・エチケットの解説)
	第15回	YeStudyによる課題授業(スポーツ運動のさまざまな特徴)
準備学習	テレビ	等で放映されるゴルフの競技会を観戦し、技術やマナーを学習してほしい。
履修上の留意点等	○ゴル	は、運動に適したスポーツウェア、シューズとする。 フ用グローブを各自用意すること。 及び強風時には、教場を変更することがあるので、掲示板を確認すること。
成績評価の方法	70%	平常点
	30%	
		こ出席して毎回実技を実践することが重要であり、成績評価のうち平常点を70%とす をについては、技術習得度、積極性、受講態度等を総合的に評価(30%)する。
教科書/テキスト	特になし	
参考書	特になし	
学生による授業アン ケート結果等による授 業内容・方法の改善に ついて	今年度よりこの時限の授業を担当するので、前年度の授業アンケートの結果はない。ゴルフというスポーツは、技術練習に時間を要する種目なので、受講生のレベルに合わせて学習効果が上がるように授業展開を工夫していく計画です。	
関連リンク		
実務経験がある教員による授業科目		